

ROGER STEARE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Corporate Philosopher in Residence at the Cass Business School in London



Topics

- Academics
- Activists
- Artificial Intelligence
- Culture
- Education
- ESG
- Ethics
- Ethics in AI
- Leadership
- Philosophers
- Society

Roger Steareは、ロンドンのCass Business Schoolに所属する組織倫理の客員教授およびCorporate Philosopher in Residenceです。彼の初期の経歴はソーシャルワーカーと銀行家としての役割と、求人会社の最高経営責任者としての10年間を含みました。彼はまた、2009年にPhillip Blondによって設立された英国のクロスパーティー政策シンクタンクRes Publicaの仲間でもありますRes Publicaの「論争の変化：英国の再定義のアイデア」にエッセイが含まれていました。

ロジャーは2009年4月にG20ロンドンサミットのための勧告を準備するために英国政府によって招待された権利と人類のための専門家製図専門家委員会のメンバーだった。ロジャーは道徳的性格に関する実証的研究を行っている。判断と行動。この研究の一部は、2010年10月にThe Timesに、2010年にFinancial Services AuthorityのHector Santsによって、および2010年にPwC UKによって発表されました。彼は、道徳的価値の測定に使用される心理測定プロフィールMoralDNAの共同設計者です。

ロジャーは倫理学の作者であり、2006年に最初に発行され、現在はその第4版に掲載されています。彼は現代の企業の「機能不全の全体主義的構成」に挑戦するFTおよびチャータード・バンカー誌への定期的な寄稿者です。2012年7月22日、彼はBBCワールドサービスの "In the Balance" プログラムに参加しました。

ロジャーは、BPシティグループ、HSBC、PwC金融サービス庁、および深刻な詐欺局を含む組織のリーダーシップ、倫理および企業責任に関するプログラムを開発しました。2010年のDeepwater Horizonによる油流出事故の後、BPはRogerの倫理的意決定のためのRICHRの枠組みをBP 2011行動規範に組み入れました。2008年の世界的な金融危機の後、ロジャーは、その価値、意決定、文化をどのように強化するかについてHSBCの上級指導者チームに助言しました、そしてその後の3年間でHSBCは55%以上増益の15.4億ポンドを報告しました。